

浜松西高等学校創立百周年記念事業 「浜松西高海外フィールドスタディ」報告

「進取の精神」に満ち溢れた静岡県西部から、海外に進出している企業の現地法人を訪問し、現地での貢献や苦労などを肌感覚で知り、その国の熱気や文化を生徒自身が目と耳とコミュニケーションを通じて感じ取ることを目的に、「浜松西高海外フィールドスタディ」を実施しました。この事業は、今後10年間継続していく予定です。

初回は、タイ王国を訪れ、企業7社のほか、大学生との交流や、バンコク、アユタヤの観光も実施しました。

<参加者>

- 生徒 高校2年生20名(男子9、女子11)
- 引率 4名 学校関係2(校長、同窓会副会長)
浜松いわた信用金庫2(常務理事、海外サポートセンター長)※協力提携
- 添乗員 1名(遠州鉄道株式会社)
- 浜松いわた信用金庫バンコク駐在員事務所 2名(所長、秘書)

<視察スケジュール>

7月21日(日) 出発式、移動日(夜行便にて日本出発)

7月22日(月) 早朝バンコク空港到着+企業視察+観光

- ①到着後、サムヤーン市場にて朝市視察
- ②浜松いわた信用金庫バンコク事務所訪問
- ③バンコク市内観光(王宮&エメラルド寺院、暁の寺)

7月23日(火) 企業視察

- ④Enkei Thai Co., Ltd.(エンケイ)
2グループに分かれて視察
- ⑤Atsumitec (Thailand) Co., Ltd.(アツミテック)
- ⑥MIYAKI (Thailand) Co., Ltd.(ミヤキ)
- ⑦夕食懇親会/ホテル呉竹荘タイシラチャにて開催

7月24日(水) 企業視察+泰日工業大学との意見交換会

- 2グループに分かれて視察
- ⑧Crestec (Thailand) Co., Ltd.(クレストック)
- ⑨ESP Asian Center Co., Ltd.(ESP)
- ⑩泰日工業大学学生との意見交換会

7月25日(木) 企業視察+観光+深夜タイ出発

- ⑪Thai SUZUKI Motor (スズキ)
- ⑫アユタヤ市内観光(市内3寺+ゾウ乗り)

7月26日(金) 羽田空港到着+新幹線にて浜松に移動



<視察報告(○番号は1日スケジュールと同じ)>

②浜松いわた信用金庫バンコク駐在員事務所

バンコク到着後、海外FSの現地コーディネートをしていただいた浜松いわた信用金庫の事務所を訪問した。

所長から、タイの概要、駐在員事務所の業務、生活上の苦勞などの説明を受ける。現地秘書からは、タイの教育事情などについて伺った。(特に「英語の勉強の重要性」について強調～受験や仕事に限らず自分の可能性を上げられる。)



④Enkei Thai Co., Ltd. (エンケイ社現地法人)

エンケイ社では、本社が築いた3つの独特の企業文化「5S(ごえす) 監査の定例的な実施」、「DIS (Daily Income Statement)」、「損益分岐管理 (BEP/Break Even Point Management)」について説明を受けた後、工場見学を行った(有機質化:敷地内の池で錦鯉を飼ったり、空き地で植物を育てるなど、有機質化の取組も印象的だった。)



見学後に、社員食堂でタイ料理の昼食をいただいた。デザートのマングー、マングスチンは、初めて食べる生徒もいたようで、見た目に驚きながらも全員が美味しいと言って食べていた。



⑤Atsumitec (Thailand) Co., Ltd. (アツミテック社現地法人)

最初に、スライドで当社の歴史、事業内容などについて説明を受けた後、敷地内にある4つの工場(加工工場3、組立工場1)を見学させていただいた。事前に3人の生徒が日本の工場を見学していたため、当社製品の製造工程について関心をもって見学することができた。

その後、会議室に戻り、タイのお菓子とジュースをいただきながら、質疑応答となった。生徒からは、「午前中に訪問したエンケイの工場の天井より高さがあるが特別な理由があるか?」、「1階と2階に製造工程が分かれているものがあつたが、効率が悪いのではありませんか?」などの質問が投げかけられた。



⑥MIYAKI (Thailand) Co., Ltd.. (ミヤキ現地法人)

ミヤキでは、アルミニウムの表面処理である「アルマイト処理」とそれを進化させた「カシマコート」について、詳細な説明を受けた後、工場を見せていただいた。

当社タイ法人は2012年に設立され、今年で13年目。94人のタイ人と、4人の日本人が勤務している(タイ人職員の90%は女性)。

工場で行っている業務は、各種アルマイト処理であり、用途は85%が四輪向け、10%が二輪向け、5%が医療向けとなっている。



⑧Crestec (Thailand) Co., Ltd. (クレストック社現地法人)

クレストック社では、会社概要と製造概要について、スライドで説明を受けた後、オフィス見学となった。

2班に分かれ、マニュアル制作オフィス、保管ルーム、ODP用ルームを見学した。タイ人スタッフからの英語の説明に対し、生徒らも英語で質問、回答をしていた。マニュアルや紙の厚さなどには規格があること、工作機械用の巨大なマニュアルなどに驚いていた。

生徒からは、「翻訳はいくつの言語に対応しているのか」、「誤訳率0%と聞いたがそんなことあり得るのか」などの質問が投げかけられた。



⑨ESP Asian Center Co., Ltd. (ESP 社現地法人)

ESPでは、高層ビルにあるオフィスの眺めの良い会議室で、会社概要や業務内容、福利厚生などの説明を伺った。

加えて、若手ベンチャーの先輩として、村井社長から、ベンチャー(起業家)として成功するためには、(i)自分の強みと弱みを知ること、(ii)人間力を磨くこと、などが重要であるとのことのお話をいただいた。

オフィス内見学では、設計のタイ人担当者から、3D設計の原理を英語で説明していただいた。また、オフィス内に、ゲーム機や卓球台などが置かれ、社員がリラックスできるよう配慮されていたことは、生徒の印象に残ったようである。



⑩泰日工業大学／意見交換会

タイの大学は8月に新年度が始まるのが一般的で、7月末まで休業である所が多い中、テンモー秘書(浜いわ信事務所)の尽力により交流会を実現することができた。

泰日工業大学(TNI)は2003年設立で、工学部・情報工学部・経営学部・国際学院を擁しており、すべての学生に第二外国語とし



て日本語を必須としている。今回は、国際学院グローバルコミュニケーション学部の3年生と交流したが、参加した学生の日本語レベルは予想以上で、意見交換は最初から打ち解けて盛り上がった。生徒たちが、最も印象に残ったイベントである。

参加者(TNI 学生40人+西高生徒20人)が10のグループに分かれて、意見交換を行った。テーマは、「日本文化について興味のあるもの」で、漫画・アニメから食事・菓子・旅行・音

楽・アイドル・スポーツなど、話題が尽きることはなかった。また、日本の折り紙や簡単なゲームをするチームもあった。意見交換のまとめは、学生と高校生1人ずつのペアで、話し合いの内容を“日本語で”発表し、微笑ましい光景だった。高校生たちに配慮しつつ、温かく接してくれた学生たちに感謝します。



⑪THAI SUZUKI MOTOR CO., Ltd. (スズキ社現地法人)

当社は、スズキ(株)の初めての海外工場として、1967年に二輪生産をスタートした。現在は、船外機とバイク部品を生産している。会社の概要や歴史、製品や流通についての説明を受けた後、2班に分かれて工場見学となった。

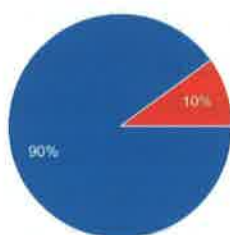
船外機については、部品の鋳造から組立、検査、梱包、搬出までを行っている当工場は、完成車工場として今回の研修のまとめとなった。



御説明くださった両名は、いずれも二度目のタイ赴任である。前回赴任時との違いについて伺うと、(a) 市中にショッピングモールができてモノが増えたこと、(b) 日本食の店も増え生活が楽になったこと、(c) 車が増えて、郊外にある当工場の前でさえ渋滞するようになったことなどを挙げていた。タイの人の生活水準の向上、タイの発展を実感するエピソードである。

<参加生徒の感想>

1 海外フィールドスタディについて (1) 全体の満足度を教えてください。
20 件の回答



● とても満足
● 満足
● 少し不満
● 不満

・工場見学を通して、現地の人とコミュニケーションできたり、熱気を感じたりすることができて、日本では体験できないような経験ができました。

・全ての企業で社員の方々が温かく接してくださり、工場見学や質問等を通して様々なことを学びました。

・浜松に住んでいても、地元の企業が海外でこんなに活躍しているのを知らなかったのも、良い勉強になりました。地元愛が高まりました。

・大学での交流会は、今回の研修の中で一番楽しかったです! 学生の皆さんは日本語がすごく上手で、日本の事に関しても私たちより知っていることが多くて驚きました。

・お互いの国の文化や好きなところを共有することができて、とても楽しかったです。海外の人とこんなにじっくりと話すのは初めてだったけれど、国籍が違って好きなものや興味があることが同じだったりして、海外の人をととても近くに感じて、すごく嬉しかったです。

・企業訪問を通して学びを得ることはもちろん、観光でも日本とは異なる文化に触れることができてとても充実した 6 日間でした。

・異文化に触れることができて、海外で頑張っている人たちを間近でたくさん見ることで、同級生やタイの新たな友達もできて、幸せでした!

・私は今回の海外FSを通して、日本とタイとの文化、言語の違いや、現地で働いている人の熱気を肌で感じる事ができました。また、活動に参加した20人と新しい友情関係を築くことができ、自分自身にとって色々な面で成長することができました。

<引率所感>

今回の海外FSで生徒に伝えたかったのは、「国際化の重要性」と「地元愛(地元の誇り)」でしたが、参加生徒が自主的・積極的に国際交流を楽しんでいる姿が見られ、また多くの地元企業の協力でツアーを無事遂行できたこともあり、当初の目的を果たすことができたことと確信しています。御支援・御協力いただいた皆様に、深く深く感謝いたします。